

[成果情報]新たに育成された優良なスモモ晩生種の特徴

[要約]「ふかさわ」は、「貴陽」より10日程度遅く成熟し、果実は大玉で、食味が良い。「皇寿」は「太陽」より2日程度遅く成熟し、果実が大きく、高糖度で食味は極めて良い。「秋さやか」は「太陽」より20日程度遅く成熟し、糖度が高く、食味が良い。

[担当]山梨県果樹試験場・栽培部・落葉果樹栽培科・芦澤勇太

[分類]技術・普及

[背景・ねらい]

スモモの新品種は各地で育成されているが、その特性は不明な点が多い。ここでは、成熟期が「貴陽」に続く品種や、「太陽」の後の品種が不足しているため、山梨県内で育成された「皇寿」、「ふかさわ」及び山形県内で育成された「秋さやか」の生育特性や果実品質を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 「ふかさわ」の開花期は「貴陽」より2日程度早い。収穫期は8月上旬で、「貴陽」より10日程度遅い。結実率は「貴陽」と同様に低い。果実重は199gと大玉で、酸味をやや感じるが、果汁が多く食味は良い(表1、表2)。
2. 「皇寿」の生育は、標高差を考慮すると、開花期は「太陽」と同時期であり、収穫期は8月中旬で、「太陽」より2日程度遅い。結実率は「貴陽」と同様に低い。果実重は230gと大きく、高糖度で、酸味も少なく、食味は極めて良い(表1、表2)。
3. 「秋さやか」の開花期は「太陽」と同時期である。収穫期は9月上旬で、「太陽」より20日程度遅い。生理落果は少なく、結実率も高い。果実重は135gで、糖度が高く、肉質が緻密で食味が良い(表1、表2)。

[成果の活用上の留意点]

1. いずれの品種も「ハリウッド」の花粉を用いて人工受粉を行うことで、結実を確保できる。「皇寿」、「ふかさわ」は人工受粉の回数を多くする。
2. 「皇寿」は「貴陽」と同様に成熟期の降雨により裂果が発生しやすいため、傘かけを励行する。
3. 「秋さやか」は結実が良いため、摘果が遅れないようにし、果実肥大を促進する。
4. 晩生種のため、灰星病、シンクイムシ類の多い場合は、追加で薬剤散布を行う。
5. 「ふかさわ」、「秋さやか」の導入にあたっては、JAなど出荷先と調整を行う。

[期待される効果]

いずれの品種も晩生種として、県内への普及が期待できる。

[具体的データ]

表1 検討品種の生育特性 (2020~2022)

品種	樹齢	標高 ^z (m)	開花期		収穫期		成熟日数	生理落果 ^y	結実率 ^x (%)
			始	盛	始	終			
ふかさわ	7~9	461	3/16	3/21	8/4	8/9	136	無	7.7
皇寿	6~8	531	3/22	3/26	8/16	8/26	143	無	9.2
秋さやか	11~13	461	3/19	3/22	9/1	9/11	163	微	46.6
貴陽	9~11	461	3/18	3/22	7/25	8/4	125	微	11.0
太陽	8~10	459	3/19	3/22	8/12	8/22	143	微	27.9

z)山梨県果樹試験場(山梨市江曾原)、「ふかさわ」「秋さやか」は開心自然形・傘なし、「貴陽」は開心自然形・傘あり、「太陽」はV字仕立て・傘なし、「皇寿」は平棚仕立て・雨除け栽培
y)5段階(無、微、少、中、多)で評価した

x)開花期に「ハリウッド」の花粉を用いて人工受粉を実施(「ふかさわ」、「皇寿」、「貴陽」は5回、「秋さやか」、「太陽」は3回) 2021~2022年データ、「秋さやか」のみ2022年データ

表2 検討品種の果実品質 (2020~2022)

品種	樹齢	果実重 (g)	硬度 (kg)	糖度 (°Brix)	酸度 (pH)	食味 ^z (指数)	裂果 ^y
ふかさわ	7~9	199.4	1.7	16.1	4.1	3.9	微
皇寿	6~8	230.1	1.7	18.1	4.3	4.5	微
秋さやか	11~13	135.1	2.0	17.9	4.1	3.9	微
貴陽	9~11	234.1	1.6	17.4	4.3	4.5	少
太陽	8~10	134.7	1.8	17.0	4.2	3.5	微

z)1(不良)~5(良)

y)5段階(無、微、少、中、多)で評価した



ふかさわ



皇寿



秋さやか

図1 検討品種の果実外観

[その他]

研究課題名: スモモ、オウトウの優良品種の特性調査と栽培技術の確立(第6次)

予算区分: 県単

研究期間: 2020~2022年度

研究担当者: 芦澤勇太、池田博彦